

(別添資料1)

事業所名

大阪発達総合療育センターゆうなぎ園

支援プログラム

作成日

2025年

3月

17日

法人（事業所）理念		私たちは障がいを持つ人々が、地域において安心して生活できるよう支援します。1.保健・医療・福祉の緊密なチーム活動をもって生活支援をおこないます。2.行政機関・医療機関および各種社会資源と連携しその組織化に努めます。3.広く地域社会に法人の活動に対する理解と参加を呼びかけます。4.職員は個々の専門性の向上に努めるとともに、法人運営に積極的に参加します。				
支援方針		難聴やコミュニケーション、ことばの発達に課題のあるお子様と保護者を支援します。人とのコミュニケーションを楽しめるよう、保護者と関わりや環境作りについて相談しながら支援を実施しています。加えて学童期では自己肯定感の向上につながるような活動、経験を大切にします。個別では言語聴覚士、集団では保育士、言語聴覚士が専門的な視点から支援を実施します。乳児期、幼児期、学童期それぞれの年齢や社会参加状況に応じた支援を実施します。				
営業時間		8時	50分から	17時	30分まで	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・特に0歳～3歳の低年齢のお子様では、ご家庭で食事や睡眠、排せつなどの基本的な生活リズムを身につけたり、生活に必要なスキルを身につけられるように保護者のご相談に応じたり、必要なことは園の中でも実施していきます。 ・健康状態の把握やチェックを行い、ご相談があれば対応いたします。 ・安全に楽しく食事ができるよう、口腔機能・感覚等に配慮した食事の支援やアドバイスをさせていただきます。 ・医療的ケアやアレルギーなど医療的な情報について確認の上、安全に支援が実施できるよう努めています。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、多様なあそび、プログラムを準備します。 ・ことばの発達の土台となるきこえの評価を行うため、必要時には聴力測定を行い、聴力を把握します。 ・医療機関と連携の上、補聴器の調整を行い、適切な補聴・装用環境を作ります。 ・必要に応じ医療機関と連絡をとり、診察時には支援の様子を報告を行います。 ・ことばやコミュニケーションの支援においても、運動あそび、感覚あそびなどバランスよく取り入れ楽しい支援になるようにしています。 ・リトミックグループでは音楽に親しんだり、身体を使いながらメロディやリズムを感じられるようとりくんでいます。 ・就学後の音楽の授業にむけて階名など音楽の知識を学んでいきます。 ・学童児の支援ではポッチャやスポーツなど楽しく体を動かす活動もとりにいれています。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に応じた色々な検査を実施し、言語や状況の理解の発達の評価を行います。終了後は保護者に内容を説明します。 ・発達に応じた様々な教材を使用し、数の概念の獲得、操作について学びます。 ・カレンダーを使い、活動の見通しや曜日、時間の概念について学び、日常生活に活かしていきます。 ・パズルや型はめといった視覚課題を用い、形や色の理解に始まり、絵や文字の理解につなげていきます。 ・難聴のお子様は、幼児期、学童期と年齢に合わせて自分のきこえの理解や補聴機器の取り扱いについて学べるように支援を実施します。 ・とくに学童期は自分が必要とするサポートについて考える機会を作っていきます。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの好きな活動を使ってコミュニケーション支援を行います。 ・個々のニーズや課題に合わせて、活動、関わり、教材を選択し、ことばの理解と表出の発達を促進します。 ・発達年齢に合わせた語いを増やす日常の取り組みを提案します。 ・難聴のお子さんでは補聴機器を装用、もしくは音環境に配慮した状態で、音声、手話、サイン、絵カードなどの手段を用いてことばの理解を促します。 ・お子様の聞こえや発達段階に合わせ、より明瞭な発音を獲得できるよう支援します。 ・ままごとやお買い物ごっこなど相互のやりとりを促す活動の中で、状況に応じた会話を学べるよう取り組みます。 ・子どもの好きなあそびの中で文字や音韻認識の獲得を促します。 ・様々な支援についてご家庭で取り入れていただける活動、関わりを提案します。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが他者との関係の中で、相互理解、共感、協力、ルールの理解といった社会性を学べるよう支援します。 ・グループ支援の中で、同年代の友だちと話し合ったり、共感しあえるような活動に取り組みます。 ・身近な大人を通じて、自分の要求や気持ちを表すことで他者への興味が広がるよう支援します。 ・他者への共感心が育まれるような、大人の関わり方について検討し保護者と共有します。 ・特に学童期では自己肯定感が育っていくよう、好きな活動や人を見つける、自分で考えて行動する、自分の役割をもつといった経験を支援に取り入れていきます。 				
家族支援	お子さまの発達やご家族の関わり方、ごきょうだいへの関わりなどの個別のご相談に対応します。また就学や進路、サポートブックなどに関する保護者勉強会を実施しています。保護者どうしの交流の機会を設けることや、育児のサポートができるよう保護者との対話を大事にします。	移行支援	就園、就学の際には進路先の施設と連携しています。園で支援の見学や、電話等でも情報交換を実施しています。お子さんの発達の報告書の作成や保護者のサポートブック作りをお手伝いしています。また育児に役立つ場や施設の情報の提供などを行っています。			
地域支援・地域連携	ご希望の方には保育所等訪問支援を実施し、お子さまの通う学校・園と連携を実施しています。お子さまが利用されている学校や園、施設の方の見学を受け入れています。	職員の質の向上	支援に関する技術、知識等の習得を目的に定期的に職員研修を実施しています。（ゆうなぎ内では研修は月2回程度） 支援においては職員間で相談、助言を行い職員全体で支援の質の向上をめざしています。 法人が開催する全体研修に参加します。			
主な行事等	夏祭り クリスマス会 お餅つき 保護者勉強会（先輩保護者体験談など年3～4回） 全体遠足年2回（家族・きょうだい参加） 保護者交流会 デイキャンプ お楽しみ会 卒園式・修了式					